

# 平成 26 年度モニタリング調査結果

## 地点毎の調査結果

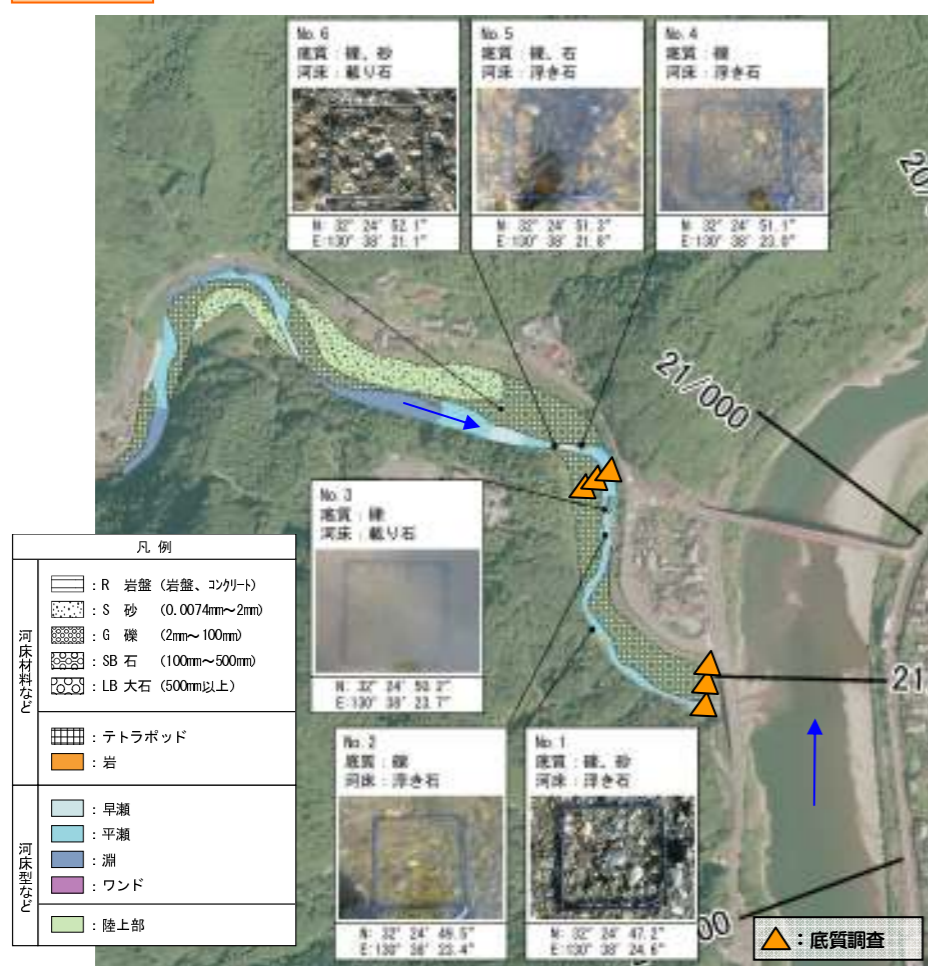
(荒瀬ダム百済木川流入部のとりまとめ例)

# 地点別の変化 (7) 荒瀬ダム百済木川流入部

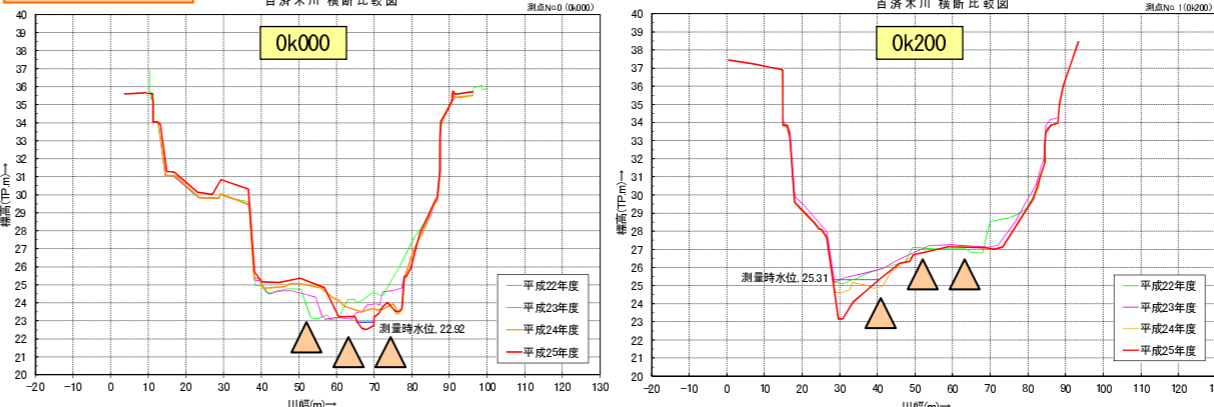
## ①河川形状(1)



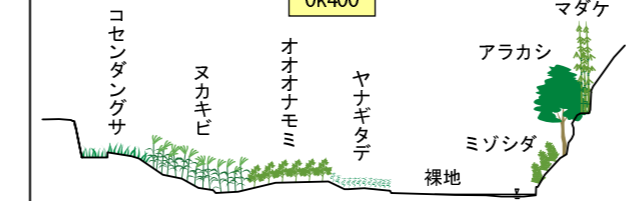
## ②底質(1)



## ①河川形状(2)



## ③植生(1)

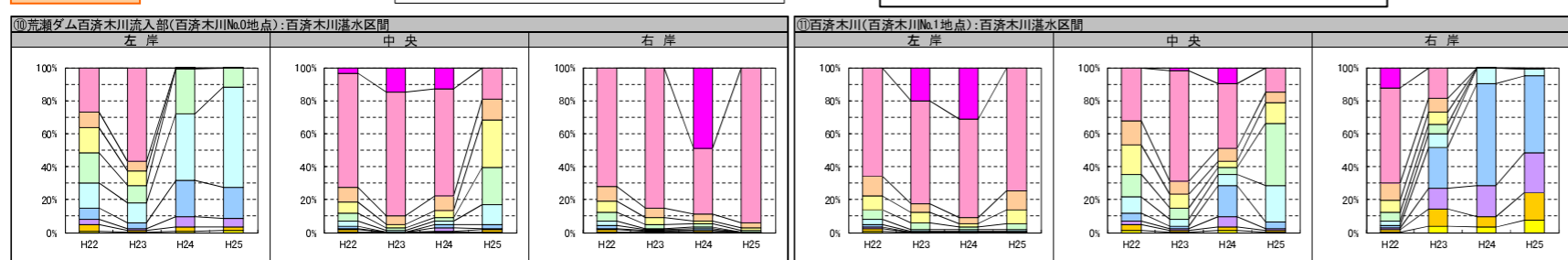


## ③植生(2) (平成23年度調査結果)

平成25年度は調査なし (次回調査は平成26年度)



## ②底質(2)



調査の視点	A 河川形状や底質等の物理環境の変化の把握 B 流水環境への変化に伴う動植物の変化の把握
調査結果の概要	A みお筋が形成されている。他は特徴的な変化は見られない。 B 底生動物の全確認種数、流水性の種の種数が少し増加している。

調査年	H16	H22 (4月ゲート開放)	H23	H24	H25 (6月水位低下装置設置)	H26	H27	H28	H29	H30
流れの状態	湛水状態	流水回復								
付着藻類	種類 細胞数						春 冬	春 冬	春 冬	春 冬
	付着物量						春 冬	春 冬	春 冬	春 冬
	クロロフィル a フェオフィチン						春 冬	春 冬	春 冬	春 冬
底生動物 (流水性)							春 冬	春 冬	春 冬	春 冬
魚類							春 夏 秋	春 夏 秋	春 夏 秋	春 夏 秋
鳥類										春 夏 秋 冬

